

本時のねらい

- ・文字と式の乗法の規則性について知る。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・1人1台端末で課題を配付することにより、自分の理解度に応じた問題に取り組むことができる。
- ・「学んだこと」「注意する点」を共有して、自分の考えを改善することができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノート
- ・Qubena (キューベナ)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法の正の数・負の数の規則性について確認する。 ・単元カードを配付する。【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで単元カードを配付する。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ・班で単元カードにある1次式の乗法 $(-2a) \times (-9)$ の課題に取り組む。【写真2】 ・生徒各自で、練習問題を解き進めていく。わからない場合は適宜、班の生徒に質問をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで提示したワークシートをもとに、個人や班で教科書やノート、ロイロノートに提出された他の生徒のカードなどを参考に、課題解決のために必要な情報を調べる。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・「学んだこと」「注意する点」をロイロノートで提出後、他者の考えを参考にしながら、考え方を改善する。 <p>【写真3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Qubenaのワークブックに取り組み、自分の理解度を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートの回答共有機能を活用。 ・AIにより個人の回答に応じて、異なった問題が出題されるQubenaを活用し、個別最適な学習に取り組む。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】単元カード。1枚で本時の流れがわかる。



【写真2】課題について班で取り組む様子



【写真3】他者の考えを参考に、自分の考えを改善している様子

児童生徒の反応や変容

- ・自分の理解度に応じた学びを展開したことにより、わからない箇所を班で聞き合い全員が安心して授業に参加することができた。
- ・個人で課題に取り組むことにより、自分の定着度や理解度を振り返ることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・年間を通じて同じ形式の単元カードを使用することで、毎回の授業の流れが整理され、生徒が取り組みやすかった。
- ・回答共有機能を活用するとリアルタイムで考えを共有できるため、お互いがどのように考えているのか知ることができ、生徒たち自身で学習を進めることができた。